



「内なる宇宙」の 力は無限

1996年（平成8年）6月24日、池田名誉会長はキューバを初訪問した。首都ハバナから望むメキシコ湾は、沈みゆく太陽によって、黄金色に染め上げられていた。

当時、キューバとアメリカは緊張状態にあった。だが、そんな小

さな地球上の争いを見下ろすかのよう^{あらそ}に、大宇宙は生命のリズムを、間断なく刻み続けていた。

9月23日は「秋分の日」。太陽が真東から上り、真西に沈む。昼夜の時間がほぼ同じとなり、これから季節は冬へと向かっていく。

仏法は「我即宇宙」「宇宙即我」と説く。一人一人が、かけがえのない宇宙の要素であり、わが生命に宇宙を抱いている。「小我」を破って、「大我」に生きて生き抜いていきたい。偉大なる法、偉大なる師匠とともに――。



一人一人が、かけがえのない生命。尊極の宝。
その大哲学を自らの実践で貫いてきた池田名誉
会長。長野研修道場で、功労の友をたたえて

春の彼岸からは昼が、
秋の彼岸からは夜が、
日一日と長くなつていく。
地球の一年の運行の節目である。
大宇宙を貫く
妙法とともに生きる私たちは、
この日を「生命の元旦」

「三世の勝利への出発」
との思いで進んでまいりたい。
万有流転——
大宇宙の運行は
瞬時たりとも止まることはない。
万物は

間断なき前進から生まれ出ずる。
前進こそが
宇宙を貫く黄金則なのだ。

あの美しい 満天の星のごとく
勇気に溢れ 希望に溢れ
勝利に溢れゆく

栄光にふさわしき
人間王者の威厳に満ち満ちて
常楽我浄の王宮の扉を開き
笑みを湛えながら

わが人生の流転を進みゆくのだ。

だれもが、
宇宙の無限の力を秘めた
「小宇宙」である。

だから、あの「太陽」も
自分の中にある。

自分の中に 輝く「銀河」もある。
星々をわたりゆく無数の光が、
この胸の中にある。

「内なる宇宙」も無限である。
だから、私は言っておきたい。

どんな悩みがあっても、
君は負けるな！

どんな障害があっても、
夢をあきらめるな！

自分の中の「太陽」を
輝かせて生き抜こう！